

コマッタサン 導入イメージ

－ 実際のやり取り・管理画面サンプル集 －

従業員の『困った』を、
組織の力に変える AI相談窓口



コマッタサンは、 3ステップで『個別の声』を『組織の力』に変えます



相談する

2つの入口で相談：
気軽な「AIチャット」と本格相談の「相談窓口フォーム」（匿名・仮名可）。チャットから必要に応じフォームへ誘導



AIが整理する

AIが『相談内容』と『AI応答』をそれぞれテキストで要約危険度を判定



組織が見える

相談の蓄積が組織の傾向として要約され、緊急性（危険信号）を可視化

この1枚が資料全体の地図です。以降の各ページは右上のステップ表示で『今どの段階か』が分かります。

相談する人が、特定されない設計。

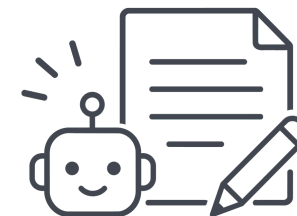
だから従業員は、安心して本音を打ち明けられます。



名前を出さなくていい

匿名、仮名で相談できます。
氏名や部署を入力しなくても、
AIチャット・相談窓口フォームの
両方をご利用いただけます。

1



生の相談はそのまま渡らない

AIが相談内容を匿名化し、事実
ベースに要約したうえで組織へ
届けます。感情的な表現や特定
につながる情報は除かれます。

2



「誰が相談したか」は共有されない

組織に見えるのは、“傾向”と
“緊急性のシグナル”まで。
相談者個人が上層部に伝わるこ
とはありません。

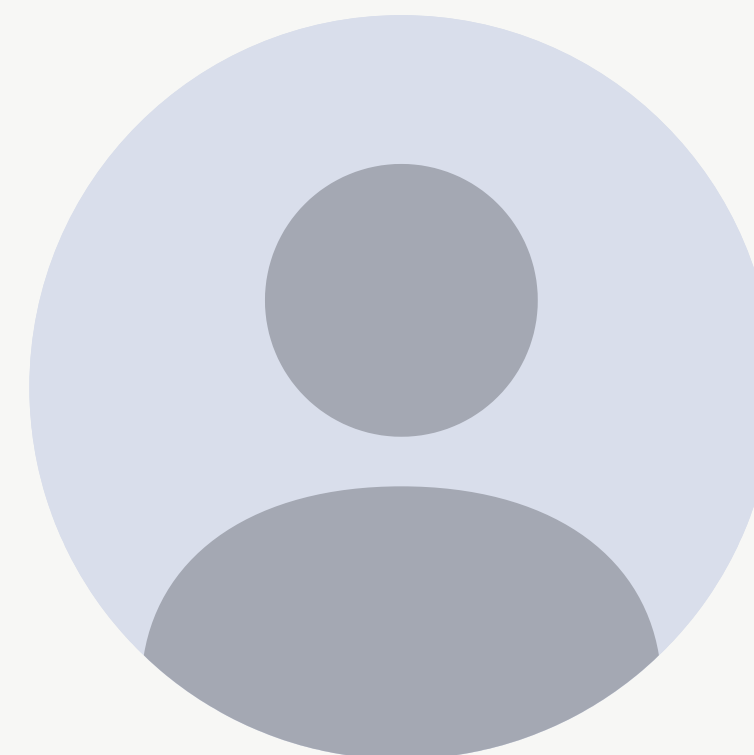
3

『会社の仕組みだから、中身が見られるのでは』という不安をなくす。それが、相談が集まる窓口の条件です。

深刻な悩みも、まずは一言から。

上司からのハラスメントに悩む従業員が、誰にも言えなかった不安をチャットで相談。対面では言い出しにくい内容ほど、匿名の窓口が力を発揮します。

誰にも言えなかった声を、安心して打ち明けられる場に。



[事例① 不動産業界 / パワハラ相談の画面]

生の相談内容が上層部に共有されることはなく、 誰が相談したか（相談者個人）も特定されません。

AIチャット

統計情報

ページビュー数

31

利用回数

44

直近のAIチャット（セッション）

セッション要約

2026-08-17 11:47

相談内容（セッションまとめ）

上司から日常的に人前で大声叱責や人格否定を受け、強いストレス症状が出ている相談です。誰にも打ち明けられず追い詰められており、支援先を求めています。

AI応答（セッションまとめ）

上司からの継続的な人格否定や叱責で心身に不調が出ており、パワハラ該当性と相談先を整理するため状況確認が行われています。現時点では事実関係の把握を優先し、「はい／いいえ／わからない」で答えられる形で確認を進める方針です。

1

『相談内容（セッションまとめ）』
— AIが相談の要点をテキストで要約

2

『AI応答（セッションまとめ）』
— AIがどう応じたかもテキストで要約

3

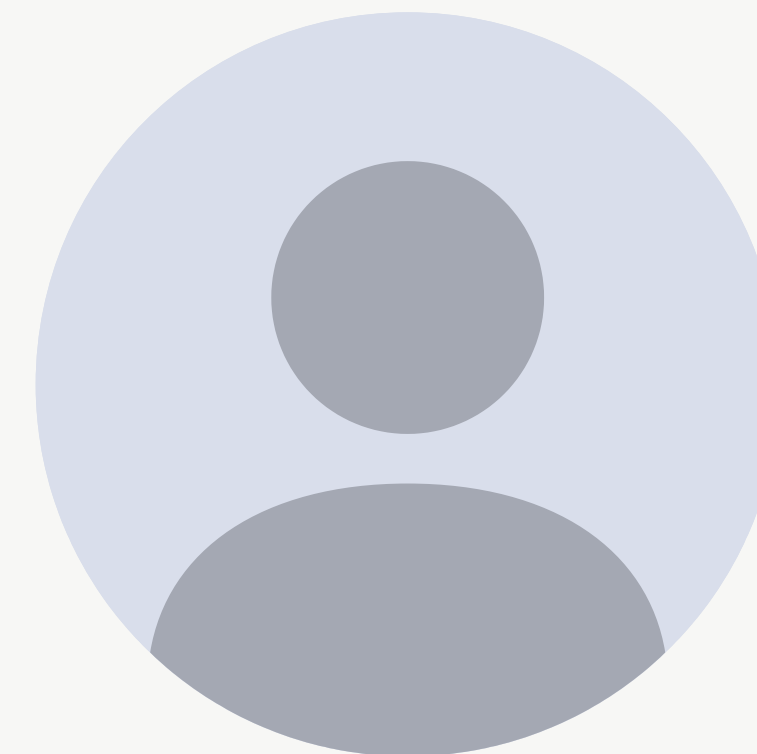
— 緊急性は「組織の傾向」でまとめて表示

相談は匿名化し事実ベースに要約したうえで組織へ届く設計のため、投稿された生の相談や相談者個人が上層部に伝わることはありません。

ネガティブな相談だけじゃない。 前向きな提案も拾えます。

STEP1 → STEP2

業務改善のアイデアを『言い出しにくい』若手従業員の声も、チャットならすくい上げられます。
管理画面では相談内容とAI応答が同じようにテキスト要約され、前向きな提案も蓄積されていきます。



[事例② IT業界 / 業務改善提案の画面]

深刻な相談だけでなく、
前向きな提案も同じ窓口で拾えるます

「部下の指導に不安を抱える管理職」にも！ ハラスメントを未然に防ぐ。

STEP1 → STEP2



コマッタサンは「被害を受けた部下からの相談」だけでなく、管理職・上司が“指示の出し方”を事前にチェックできる「**ハラスメント予防ツール**」としても活用できます。

悩み・ニーズ

「部下に厳しい指導や修正指示をしたいが、ハラスメントと言われまいか心配」
「適切な伝え方・言い回しを確認したい」

AIチャットの活用

指示出しの前にAIチャットへ相談。「こういう理由でやり直しを求めたいが、言い方として大丈夫か？」と気軽に確認できる。

効果

AIが法的・労務的な観点から「正当な業務指示の範囲内か」「人格否定になっていないか」を客観的にアドバイス。ハラスメントの未然防止と、管理職のストレス軽減につながる。

相談窓口であると同時に、“言い方”の相談相手。上司が抱えるモヤモヤも減らします。

相談が積み重なると、AIが『組織の今』を1つの文章にまとめます。

コマッタサンだから見えること

組織の傾向

緊急性 **黄信号**

再生成

本件では、上司からの継続的な大声叱責・人格否定により心身不調を訴えるパワハラ相談が複数見られ、深刻化の兆候がうかがえます。一方で、部下指導の妥当性確認や、備品の私的利用・虚偽報告などコンプライアンス・労務リスクに関する相談も一定数存在し、現場の「モヤモヤ」を早期に共有しようとする傾向も確認できます。また、前向きな行動や職場貢献を評価してほしいというポジティブな情報提供もあり、相談窓口が「不正・ハラスメント専用」にとどまらず、職場風土全般の声を受け止める機能として認識されつつあります。総じて、パワハラ・人間関係（特に上司部下）とコンプライアンス・評価の不透明感が主要テーマであり、心身不調を伴うケースについては早期の医療・社内支援につなげる運用強化が望まれます。

パワハラ:高 セクハラ:低～中（取引先発言等） 労務:中 コンプライアンス:中～高

個々の声をAIが自動解析

1

AIチャットと相談窓口フォームの全データを取りまとめて分析

組織の課題を文章で要約

2

現場の不満や潜在リスクを包括的にテキスト化

全体の危険度を一目で把握

3

会社の「今」の状態を危険信号バッジ（緊急性）で判別

一つひとつの『コマッタ』が、経営の意思決定材料になる

Before

バラバラの個別相談

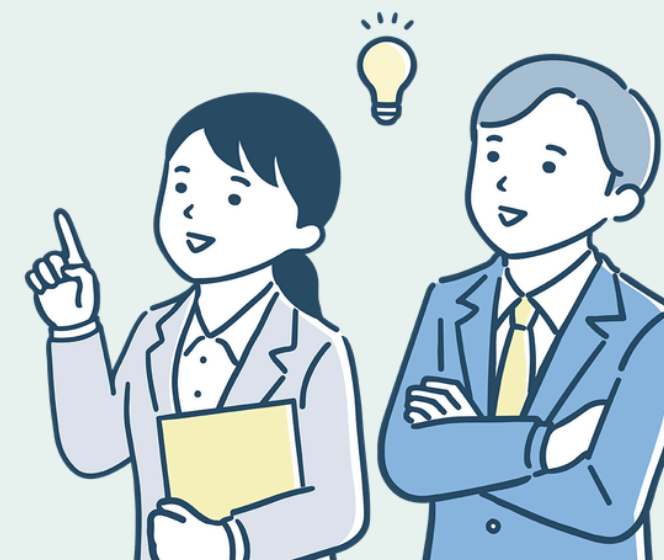


相談は個人の胸の内。
誰が・何に・どれだけ困っているか、経営には見えない。



After

可視化された組織課題



AIが整理・蓄積し、組織の傾向とリスクを1つの要約文
+ 緊急性シグナルで可視化。打ち手が具体的になる。

コマッタサンで、経営はこう変わる



早期把握

問題が大きくなる前に、兆候の段階で気づける



離職防止

従業員の不満・不安を拾い、定着につなげる



法改正対応

カスハラ対策・内部通報など、求められる体制を整備



安心の窓口

外部の窓口だから、従業員は本音を話しやすい

『困った』を一人で抱えない組織へ。



まずは無料でお試ください



無料トライアル登録はこちら
(QRコード／URL)